

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

日通福山鉄鋼運輸株式会社

(2) 事業所の所在地

〒721-0931
広島県福山市鋼管町1番地

(3) 業種

他に分類されない運輸に附帯するサービス業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成23（2011）年度を基準年度とし、平成29（2017）年度から令和3（2021）年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成23年度 (2011)	令和3年度 (2021)	平成30年度 (2017)	平成31年度 (2018)	令和1年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)
エネルギー 起源CO2	13,193	13,061 (1.0)	13,575 (2.9)	13,300 (0.8)	12,791 3.1	11,662 11.6	12,616 4.4
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **生産数量(千t)**

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成23年度 (2011)	令和3年度 (2021)	平成30年度 (2017)	平成31年度 (2018)	令和1年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)
エネルギー 起源CO2	0.51	0.51 -1.0	0.52 -1.7	0.54 -4.5	0.53 -3.3	0.55 -7.5	0.55 -6.7
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	・ 重油、軽油の使用量を1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重油車両から軽油車両への設備更新。 ・ 作業早期終了時は待機せず、車両から降りて停止させる事により無駄な燃焼消費を抑制。 ・ 定時時間の早上がり制度を導入し、作業が無い場合は退勤する事で、無駄な車両のアイドリングを削減。 ・ 急発進・急停止等の抑制による、ソフトハンドリングを心掛けた、燃費向上。
2			
3	電気使用量の削減	・ 電気の使用量を1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高効率照明器具への設備更新。（蛍光灯からLED化） ・ 冷暖房温度の適正管理（夏季：28度・冬季：20度） ・ 不要時間の消灯徹底。 ・ 省エネポスター掲示による、従業員への意識付け。
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。